

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名【新】スクールカウンセラー事業推進費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

学校安全課 教育相談係 電話番号：058-272-3328(直通)

E-mail：c17770@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 45,538 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	45,538	15,179	0	0	0	0	0	30,359	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

いじめの深刻化や不登校児童生徒の増加とともに、各学校での児童生徒や保護者からの相談ニーズが増加し、児童生徒や保護者の様々な悩みに対応するため、学校の教育相談体制の充実が必要である。

令和5年度から国のスクールカウンセラー等活用事業において、間接補助事業として実施する場合にも補助対象経費となることが実施要領等に明記される予定であり、年々増加する不登校児童生徒への支援の充実や新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活や学校生活への不安や悩みへの対応のために、県の配置に加え、市町村における教育相談体制の整備に要する経費を補助する。

(2) 事業内容

市町村におけるスクールカウンセラー及びスクールカウンセラーに準ずる者の配置に係る経費を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県1/3負担（県負担のうち国1/3補助「教育支援体制整備事業費補助金（いじめ対策・不登校支援等総合推進事業）」）

(4) 類似事業の有無

- ・スクールカウンセラー設置費・事業推進費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	45,538	非常勤職員等の報酬、期末手当等
合計	45,538	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン
基本方針2 多様な学びを支援する教育体制の充実
目標8 学びのセーフティネットの構築と学びの再チャレンジの推進
目標10 いじめ等の未然防止と早期発見・早期対応の徹底

(2) 国・他県の状況

- ・文部科学省「いじめ対策・不登校支援等総合推進事業（補助率1/3）」

(3) 後年度の財政負担

- ・市町村におけるスクールカウンセラー等の配置状況を踏まえ県の補助率を検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・いじめ対応や不登校児童生徒への支援に係る教育相談体制の充実は喫緊の課題であり、市町村の体制整備に係る県の補助は妥当

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

児童生徒が安心して登校できる学校の相談体制づくりを継続して行います。また、登校することが難しい児童生徒も、スクールカウンセラー等に安心して相談できる教育相談体制づくりを行います。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

いじめや不登校の要因や背景は複雑化・多様化しています。児童生徒が継続的に相談できる体制の充実が必要であることから、目標や達成率の指標化に適さないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	県からの中学校区等への配置充実に加えて、スクールカウンセラー等を独自に配置しようとする市町村に対する支援も行うことにより、更なる教育相談体制の充実を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 スクールカウンセラー等を独自で配置することが難しい市町村への支援を行う必要があります。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 不登校児童生徒数の増加や新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活や学校生活への不安は今後も継続すると想定され、県の配置に加え、市町村における教育相談体制の整備に要する経費の補助は継続して必要である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】